



SystemVue アプリケーション・パーソナリティ・トレーニング

Course Overview

SystemVue には、ライブラリ、アプリケーション・パーソナリティが用意されています。本コースは、これらの操作を習得するコースです。

Reference: N3249D

コース概要

SystemVue アプリケーション・パーソナリティ・トレーニングコースでは、SystemVue のサポートしている全てのライブラリおよび、アプリケーション・パーソナリティ毎に、それらの活用方法を学ぶためのトレーニングコースです。

本コースは、1アプリケーション・パーソナリティのトレーニングにつき半日～1日間とし、1つから複数のアプリケーション・パーソナリティを選択して受講することができます。コース内容は、アプリケーション・パーソナリティごとに異なりますが、基本的には次の様な内容で構成されています。

- アプリケーション・パーソナリティの概要
- アプリケーション・パーソナリティ独自のパーツの設定方法
- 例題による活用方法の説明

コースを通して学ぶもの

- SystemVue のライブラリやアプリケーション・パーソナリティの操作方法

対象者

- SystemVue のライブラリやアプリケーション・パーソナリティを活用したい方

前提知識

- SystemVue ベーシック・コースを受講していること、もしくは、SystemVue の操作方法に関して SystemVue ベーシック・コース受講者と同等の知識を有していること
- 対象となるアプリケーションの基本知識を有していること

コース期間

半日～1日間(1アプリケーションにつき)

コース構成

講義50% / 実習50%

提供方法

お客様先でのオンサイト

お客様のお時間や出張コスト節約のために多くのコースでお客様先でのご提供が可能です。詳細はお問い合わせください。

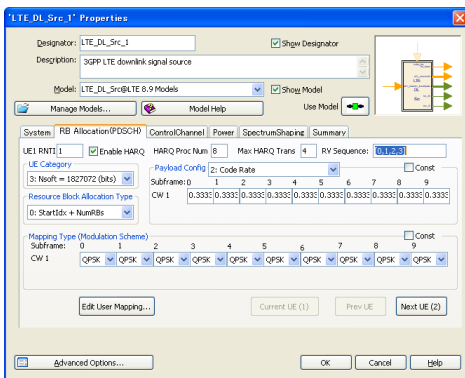
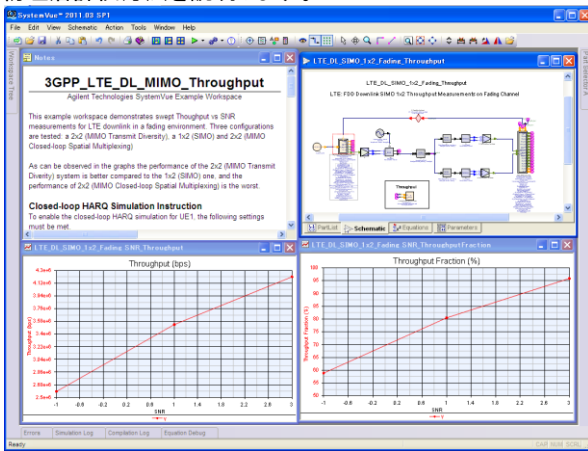


コース内容詳細

SystemVue のライブラリ、アプリケーション・パーソナリティごとにコースが用意されています。代表的なものを以下にご紹介します(下記に記載のないアプリケーション・パーソナリティのトレーニングの詳細に関しましてはお問い合わせください)。

• LTE ライブラリ・トレーニング

W1910 LTE ベースバンド検証ライブラリには、3DPP LTE 仕様に準拠したチャネル・コーダなどの下位レベルの物理層ブロックや、LTE ダウンリンク・アップリンク信号源、LTE 復調器のような上位レベルのブロックなど、様々なモデル・ブロックが用意されています。本トレーニングでは、これらのブロックの設定方法やこれらのブロックを使用した coded BER、スループット、EVM の物理層評価方法を説明します。

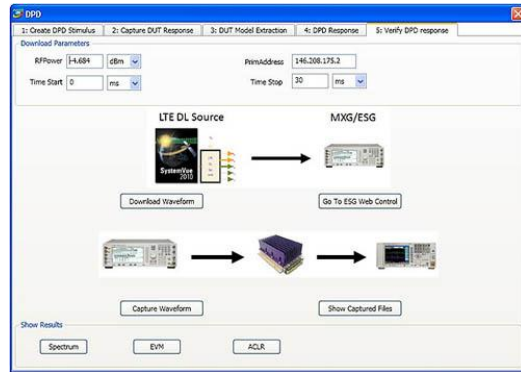


W1910 LTE ベースバンド検証ライブラリが必要です。

• デジタル・プリディストーション・ビルダ・トレーニング

DPD プロセスを W1716 DPD ウィザードで実施する方法を説明します。W1716 DPD ウィザードは、図の様に書くステップにおけるシミュレーション、測定器の設定を行い、順に実行していくことで、非線形メモリ多項式モデルを抽出することができます。

本トレーニングでは、各ステップにおける設定、操作方法を説明します。

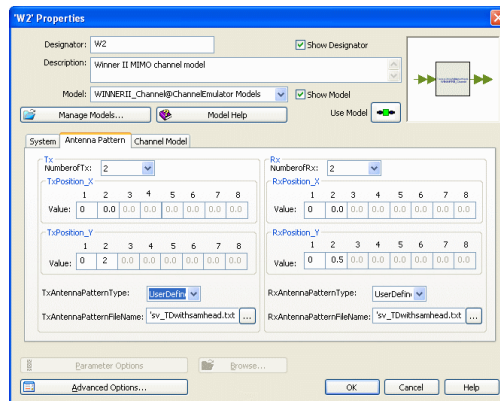


W1716 デジタル・プリディストーション・ビルダのライセンスが必要です。

• MIMO チャンネル・ビルダ・トレーニング

W1715 MIMO チャンネル・ビルダは、図の様な専用モデル・パーツを使用して、公開されている地形ベースの WIN-NWER-II や層間ベースの MIMO フェージング・アルゴリズムのモデルを生成し、シミュレーションを実施することができます。

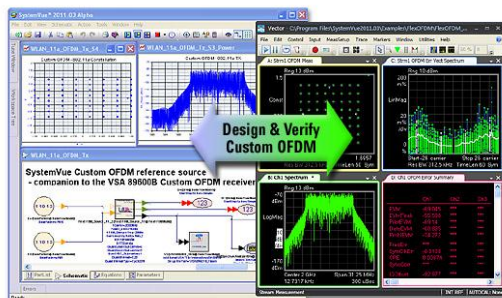
本トレーニングでは、これらの専用パーツの設定、シミュレーション手順の例題ワークスペースを使用して説明します。



W1715 MIMO チャンネル・ビルダのライセンスが必要です。

FlexOFDM トレーニング

SystemVue には、OFDM ブロック・セットから構成された、フル・フレーミングおよびプリアンブル付きのパラメータ化された ODFM 信号源のパーツがあります。本トレーニングでは、このパーツを設定方法に関して例題ワークスペースを使用して説明します。また、本パーツで生成した信号は、Keysight 信号発生器にダウンロードしたり、Keysight 89600B VSA ソフトウェアの「カスタム OFDM」パーソナリティに構成情報を提供したりして解析することができます。これらの方法も説明します。



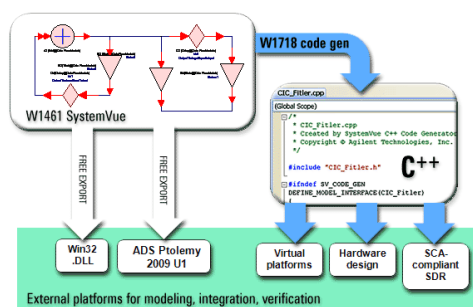
ご注意

- 本トレーニングには、シミュレーションの理論/原理についての講義は含んでおりません。
- 予告なしで内容が変更になることがあります。

C++ コード・ジェネレータ・トレーニング

W1718 C++ コード・ジェネレータは、SystemVue のデータフロー解析モデルから C++ コードを生成することができます。本トレーニングでは、C++ コード生成のための設定、生成されるコードの種類、生成されたコードのコンパイル方法を説明します。

生成された C++ コードをコンパイルするには、Microsoft Visual Studio 2008 Express Edition C++ が必要です。



W1718 C++ コード・ジェネレータのライセンスが必要です。

お申込み・最新情報

www.keysight.co.jp/find/training

お問合せ先

計測お客様窓口

Phone: 0120-421-345 (9:00~18:00)

Fax: 0120-421-678 (24 時間受付)

E-mail: contact_japan@keysight.com (24 時間受付)